

# ★ まちのわだい ★

## 竜北公園で清掃活動

11月1日、吉野保育園の年長・年中の園児33人が竜北公園の清掃を行いました。県下一斉熊本県保育所ボランティア活動の日に合わせて行われたもので、ペットボトルやたばこの吸い殻など袋いっぱいのごみを拾いました。ごみは、木の陰など人目につかない場所にたくさん落ちており、絶対にマネをしませんと園児たちはマナーについて勉強しました。



▲みんな、がんばりました！！



▲ペットボトルもたくさんありました

## いも掘り体験・おやつづくり

11月8日、常葉保育所にて、さつまいもの収穫体験が行われました。園児たちは、収穫時期を迎えた畑に入り、手は泥だらけになりながらも、楽しそうに収穫していました。初めて体験した園児は、土の中から出てきたさつまいもを見て「なんだ、これ!？」と驚いた様子でした。10日には、管理栄養士の田脇先生の指導のもと、収穫したさつまいもを使ってスイートポテト作りに挑戦しました。いもをつぶす作業や、仕上げのお化粧（表面にたまごの黄身をぬる作業）が楽しかったようです。出来あがったスイートポテトは、園児みんなでおいしく食べました。



▲いっぱいとれました



▲いも、どこだ？でてこーい！！



▲楽しくクッキング



▲スイートポテト、上手に出来ました！！

# 町民文芸

## 短歌

ノーベル平和賞受けし劉氏を喜ばぬ  
国て娘は茶道教ゆる  
西上宮 村内 一誠

病窓をよぎる雀の吸こまれそう  
高き青空秋深し  
西野津 古崎 栄子

葦むれの流れに注ぎ逆流の  
潮満ちきたる河口の辺り  
上高塚 桑原ゆき代

若き日を戦時に生きし人ら今  
文化の華を咲かせる人に  
吉本 高橋 澄子

コスモスと百日草の乱れ咲く  
ゆらゆらゆれて秋の終りに  
西野津 古崎スエノ

厚かりし日めくり残り僅かなり  
やがて今年も過去となるのか  
吉本 橋村 正之

## 俳句

思い出の亡母の丹前の温もりは  
一針ごとの重さかな  
南鹿野 尾崎 京子

紅葉美日本のが世界断トツ  
あれこれ見立てさもありなんと  
町 福田 一郎

三十三回忌母の思ひで信仰心  
遺言のこし朝のうち水  
早尾 橋本ヨシエ

名月を右端に浮かべ宇土櫓  
異様な風格絶句の感動  
下高塚 竹中 力

一汁に一菜あればそれでよし  
飢ゆく民族は砂漠の涯に  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

秋霖の江津湖のほとり芭蕉林  
褐色ゆたかなり虚子の句碑はも  
東上宮 橋本万寿美

落葉踏む音しきりなる木馬路  
西上宮 村内 一誠

新米の研ぐ手きらりと光りけり  
西野津 古崎 栄子

こぼれ種ささげ豊作無農薬  
上高塚 桑原ゆき代

吾亦紅友賜はりし誕生日  
吉本 高橋 澄子

衣替え思い出多く捨てがたし  
西野津 古崎スエノ

一雨に一尺のびし石路の花  
町 香山菊童子

金木犀揺れて香の立つ秋風に  
南鹿野 尾崎 京子

照もみじ目にやき付けて惜しみけり  
町 福田 一郎

村はづれカーブに沿って秋桜  
下高塚 竹中 力

蟻螂のさびて威嚇の構えなし  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

穂田のただ中において白鷺一羽  
桜ヶ丘 吉田 照子

夕映えに緋もあざやかに鶏頭花  
町 田中 澄子

信じつつ重荷背負いて散り紅葉  
桜ヶ丘 宮崎トシ子

## 疲れ申した

吉本 橋村 正之

禄を離れて五年が過ぎた  
帰参許すの御沙汰も無くて  
糊口をしのぐに詮無い事と  
日雇い人足用心棒と  
口が掛ければ何んでも受けた  
座して食らえば山をも空し  
ましてやなんぞ我が家の勝手  
些か有りし貯えなんぞ  
とつくの昔姿を消して  
手許不如意に苦しむばかり  
武士は食わねど高揚枝など  
誰の言葉か存ぜぬけれど  
片肘張った負惜しなど  
とても拙者は口には出来ぬ  
武士も食わねば難儀なものよ  
大晦日として訪れ来るは  
溜まり溜まった掛取りばかり  
払いたくとも無い袖振れず  
平謝まりでお帰えり願う  
疲れ申した拙者で御座る